

令和3年度狛江市立学校使用教科書採択結果及び採択理由の概要

令和2年第8回教育委員会定例会（令和2年8月8日開催）において、中学校の全教科、特別支援学級については一般図書等について、採択を行いました。

今回は以下のとおり、採択理由の概要と委員からの主な意見についてお知らせします。

【中学校】

＜国語＞光村図書出版

（採択理由概要）

明確な学習過程、「情報」に関する題材の豊富さ、表現力の向上について評価。

（委員からの主な意見）

○生徒に季節を感じさせながら学習できる構成であるとともに、今後重要となる「情報」に関する題材が多く掲載されている。

○単元の最後に、生徒が着目する点について端的に解説がされており、短時間で理解につなげ学習を進めていくことができる。「ことばを広げる」のページが表現力や語彙力の向上につながると考える。問いを考えながら話を聞く、端的に質問を返すなど「聞く」ことにより重点が置かれている。

○第3学年の最後では、効果的な話し合いをする、課題解決のための会議をするなどが示されており、発表する力や議論する力を養うことにつながる。

＜書写＞光村図書出版

（採択理由概要）

日常生活への関連付け、家庭学習の充実、別冊の内容の充実を評価。

（委員からの主な意見）

○日常生活の活用例に加え、書き込みができるページが多く設定されている。文字を美しく丁寧に書くということを改めて指導できる内容である。

○説明が端的で分かりやすく、また見やすい。加えて日常生活に役立つ書式が実用的であり、それが簡潔に示されている。

○「書写ブック」は、新型コロナウイルス感染症による休校等を踏まえると家庭学習にも使いやすいと考える。

＜社会 地理的分野＞帝国書院

（採択理由概要）

課題解決的な学習の展開、社会的な見方・考え方の育成、コラム、特設ページ等資料の充実について評価。甲乙つけ難く、最終的には、推挙多数で帝国書院に決定。

(委員からの主な意見)

- 土地の背景や関連情報、周辺知識を踏まえて課題解決に結び付けていく構成が、SDGs を意識した学習につなげることもできる。
- よりよい社会に向け、連携・協働している人々の営みについて触れている記述が多い。
- 資料が新しく、資料の見方や発表する資料の見せ方など、学習をする上で必要な技能が示されているほか、多角的・多面的な側面から幅広く深く学べるように工夫されている。

<社会 歴史的分野>東京書籍

(採択理由概要)

学習課題の段階的な設定、学び方を確実に身に付けられる構成を評価。最終的には、推挙多数で東京書籍に決定。

(委員からの主な意見)

- 資料を読み解いて学びを広げたり、学習のまとめの際に意見交換等行い、さらに深い学びにつなげたりできる構成になっている。
- 章全体の探究課題が明確に示されている
- いくつかの資料を組み合わせながらその章で学ぶ学習問題を考えていくことができる。

<社会 公民的分野>東京書籍

(採択理由概要)

学習課題の段階的な設定、概念理解につながる問いの豊富さを評価。

(委員からの主な意見)

- 中学生がよく知っている現代の話題が取り上げられ、単元ごとのまとめで考える学習ができる。
- 単元を通した探究課題が設定され、学習する単位ごとにも問いが設定されている。
- 課題解決型の学習が重視され、主体的・対話的で深い学びに向けた学習活動が盛り込まれている。

<社会 地図>帝国書院

(採択理由概要)

地理的な見方・考え方を育成できる問いの設定、英語表記の併用を評価。

(委員からの主な意見)

- 資料や地図の色彩が良く、また、地理的な見方や考え方を働かせるための作業コ

ーナーが設けられている。

○土地利用の表現や図の取り入れ方等がよく、地域の暮らしの様子が分かりやすい構成である。

<数学>東京書籍

(採択理由概要)

問題解決の過程の明確な提示、実生活に即して知識・技能を活用できる問題の掲載を評価。

(委員からの主な意見)

○スマートフォンのズームで縮小・拡大を学ぶ内容や、地図の中で船の位置を見付ける内容等、生徒の実生活に即した事柄が文章問題に多く取り入れられている。

○章末の問題が段階的に示されており、生徒が各自の習熟度に合わせて取り組むことができる。

○「深い学びのページ」で問題解決の過程が明確に示されており、問題解決の進め方を生徒が意識して学習に取り組める。

<理科>東京書籍

(採択理由概要)

学習の見通しのもちやすさ、課題解決学習としての観察・実験の設定を評価。

(委員からの主な意見)

○実験のプロセスが見やすく、実験途中でも何をすべきかを確認できる紙面構成になっている。

○縦長で製本されている特長を生かし、実験のページがステップごとに分かりやすく記載されており、レポート作成のヒントも示されている。

○実生活とのつながりが実感しやすい内容となっている。

<音楽 音楽一般>教育芸術社

(採択理由概要)

国歌を歌う場面の豊富な例示、生活と音楽との豊かな関わりが理解できる内容構成を評価。

(委員からの主な意見)

○オペラ、歌舞伎等、多岐にわたる音楽の説明や、社会の中の音楽というようなコラム等が多数掲載されている。

○民族音楽や国内外のポピュラーな音楽等、様々なジャンルが入っている。

○最初のページで学習内容が示されている。どういうことを学んでいながら、音

楽を鑑賞したり、歌ったりするのかという部分が分かりやすい。

<音楽 器楽合奏>教育芸術社

(採択理由概要)

生徒が生活や社会と音楽とのつながりを実感できる教材の掲載、「音楽の街 狛江」で活用できる楽器の掲載を評価。

(委員からの主な意見)

- 和楽器を用いた曲や外国の曲がバランスよく取り入れられている。
- 実際に生徒が楽器を演奏する際に、その楽器の特色や歴史等を学び、分かりやすく導入できる内容である。
- 「音楽の街 狛江」の中で、演奏会で用いる予定の楽器についても、授業で活用できる内容が多く取り入れられている。

<美術>日本文教出版

(採択理由概要)

生徒自身の身の回りや、生活や社会と学びとの関連付け、学習の見通しをもちやすく、授業の展開がイメージしやすい紙面構成を評価。

(委員からの主な意見)

- 生徒の作品が多く掲載されている。作者の言葉も、気を付けた点や作った思いなどが掲載され、これからどんな作品に取り組むのかということが分かりやすい。
- 製作する場面においては、発想・構想の手だてや製作過程が写真と共に詳しく載っている。
- 3冊で構成されており、2年生と3年生が上下に分かれて使いやすいつとを感じる。

<保健体育>大日本図書

(採択理由概要)

読みやすさ、学習の区切りの分かりやすさ、資料から考察・推測する活動を行った後に本文で知識の習得を図るといった、使い方を工夫できる点を評価。

(委員からの主な意見)

- 左側が本文で、右が資料になっていて扱いやすい。
- 地域等の環境に応じた内容になっており、狛江で扱いやすい。
- 応急手当について、初期対応、救急車を呼ぶところから、その場に自分一人の場合の心肺蘇生のやり方等も丁寧に説明され、実際にその場面になったときにどうすればいいかということが、自分のこととして学べる。

＜技術・家庭 技術分野＞東京書籍

（採択理由概要）

「問題解決カード」による学習の進め方や学び方が分かりやすさ、プログラミング教育への対応を評価。

（委員からの主な意見）

- 問題解決型の学習に沿った活動に取り組めるようになっている。
- 環境、安全、経済性、社会からの要求などを踏まえた上で、それぞれのメリット・デメリットを考慮しながら、将来に向けて考えていく内容になっている。
- 技術的な見方・考え方がとても深い学びになり、それらを自分で作っていくということが非常にわかりやすく道筋として示されている

＜技術・家庭 家庭分野＞東京書籍

（採択理由概要）

「家庭分野のガイダンス」、実習時間に応じて、取り上げる題材を柔軟に選択できる示し方を評価。

（委員からの主な意見）

- ガイダンスで、中学生に必要なものがとても丁寧に書かれている。また、実際の生活にすぐに取り入れることができるような記載がある。
- TP0に応じた服装や文化について記述があり、製作では、難易度が4段階で分かれているため、その難易度に応じて製作するものを自分で決めることができる。
- 家庭の基本的な機能を、ガイダンスという形でしっかりと学ぶことができ、中学生として自立と共生を深めていくことができる。

＜英語＞光村図書

（採択理由概要）

毎日の授業で使える即興のスピーキングドリル、キャラクターが成長していくストーリーと学習内容のリンク、コミュニケーションを図るという点で充実していることを評価。

（委員からの主な意見）

- 一年生で自分のこと、身の回りのことを、二年生で自分のまちや日本の文化について、三年生でこれまでの自分や社会的な問題について、話すことができ、書くことができるようになることを目指すというコンセプトが非常に明確でよい。
- 会話が最も充実しており、これからの英語教育のあり方を表しているのではないかと考える。
- 各パートに基本文が書かれており、英文と日本文で簡潔に説明されている。

＜道徳＞日本文教出版

（採択理由概要）

学習の見通しが持ちやすい構成、学習の進め方の明示、別紙の道徳ノートを活用した学習の可能性を評価。

（委員からの主な意見）

- コラム「プラットホーム」がよい。いじめの定義、アンガーマネジメント、何故人を攻撃するのか、といった内容で、そこから生徒が人権について考えていくような仕組みになっており、狛江市の基本条例と合致するのではないかと考える。
- 子どもたちがどのように学習を進めていくのか、議論していくのかが明確に示されている。
- 暴行罪や脅迫罪というように、中学生になったら罪に問われるという法律的観点からのいじめに関する記載がある。

【特別支援学級】

特別支援学級用図書については、原則として検定教科書、又は文部科学省著作教科書を使用するが、教科により当該学年の検定教科書、又は文部科学省著作教科書を使用することが適当でない場合、これらに代わる適切な一般図書等を使用することができる。

各特別支援学級設置学校において、調査・研究の上、児童・生徒の教科の主たる教材としての内容を備えた教育上適切なものとして挙げられた一般図書等について全て採択。

※ 審議の詳細は、令和2年第8回教育委員会定例会議事録をご確認ください。